

記者配布資料
令和6年10月11日
秘書課

令和6年度 県民表彰受賞者一覧

部門	氏名	年齢	主要経歴等	現住所
地方自治	タバタ セイイチ 田畑 誠一	84	元 いちき串木野市長 元 串木野市長	いちき串木野市
	クマモト アラタ 隈元 新	74	元 伊佐市長 元 大口市長	伊佐市
教育文化 スポーツ	タマガワ テツオ 玉川 哲生	88	元 鹿児島県教育委員会委員長 元 鹿児島県陸上競技協会会長	鹿児島市
保健福祉	マツシタ ケンスケ 松下 兼介	81	元 鹿児島県精神科病院協会会長 現 医療法人仁心会理事長	鹿児島市
産業経済	サワダ タミコ 澤田 たみ子	74	現 鹿児島県生活研究グループ連絡協議会会長 元 全国生活研究グループ連絡協議会理事	出水市
社会活動	イシダ オ 石田尾 博夫	76	元 鹿児島県男女共同参画審議会会長 元 南のふるさとづくり推進協議会会長	鹿児島市

※年齢は令和6年11月1日現在

※令和6年度県民表彰式開催日時

11月1日（金）午前11時～ 議会庁舎6階本会議場

た ばた せい いち
田 畑 誠 一 氏

◆年 齢 / 満84歳

◆現住所 / いちき串木野市

●主な経歴

時期	経歴
昭和50年5月～平成3年3月	串木野市議会議員
平成3年4月～平成15年1月	鹿児島県議会議員
平成15年2月～平成17年10月	串木野市長
平成17年11月～令和3年11月	いちき串木野市長
平成18年2月～平成29年2月	鹿児島県市長会監事
平成29年2月～令和3年11月	鹿児島県市長会理事
平成18年5月～平成20年5月	九州市長会理事
平成30年5月～令和元年5月	同上
平成25年6月～平成26年6月	全国市長会評議員
平成28年6月～平成29年6月	全国市長会理事
平成18年4月～平成23年3月	財団法人鹿児島県栽培漁業協会理事
平成23年4月～令和3年11月	公益財団法人かごしま豊かな海づくり協会理事
平成23年4月～平成25年7月	鹿児島県国民健康保険団体連合会理事
令和元年7月～令和3年11月	鹿児島県後期高齢者医療広域連合議会議員
平成15年5月～平成17年5月	鹿児島県漁港協会理事
平成17年5月～平成17年10月	鹿児島県漁港漁場協会理事
平成18年5月～平成20年5月	鹿児島県漁港漁場協会副会長
平成20年5月～平成30年5月	鹿児島県漁港漁場協会会長
平成30年5月～令和3年11月	鹿児島県漁港漁場協会理事
平成21年5月～平成30年5月	公益社団法人全国漁港漁場協会理事
平成27年7月～令和元年7月	鹿児島県港湾協会監事
令和元年7月～令和3年7月	鹿児島県港湾協会理事

●主な受賞歴

時期	受賞歴
平成2年5月	全国市議会議長会会長表彰（勤続15年）
平成10年11月	藍綬褒章（地方自治功績）
平成13年11月	全国都道府県議会議長会自治功労者表彰（勤続10年）
平成27年6月	全国市長会永年勤続功労者表彰（勤続12年）
令和5年11月	旭日中綬章（地方自治功労）

●主な功績

〈概要〉

串木野市議会議員を約16年，鹿児島県議会議員を約12年間務めた後，平成15年2月に多くの地域住民の支持を受けて，串木野市長に就任し，平成17年11月には，串木野市と市来町が合併して誕生したいちき串木野市の初代市長に就任した。串木野市長とあわせて，通算5期18年の長きにわたり市勢の発展と住民福祉の向上に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 市の経済浮揚を図るため，西薩中核工業団地への企業の誘致に取り組むとともに，地元の雇用促進及び人手不足の解消を図ることを目的に無料職業紹介所（市立ハローワーク）を開設するなど，市民の雇用の場の拡充，経済の活性化に貢献。
- ・ 市町村合併において，市来町との1市1町の合併について調査研究を重ね，平成17年10月のいちき串木野市の誕生に尽力。
- ・ 再生可能エネルギーを活用した産業振興策として，環境維新のまちづくりを掲げ，エネルギーの地産地消を基盤とする株式会社いちき串木野電力の設立や風力発電の誘致を行うなど，持続可能なまちづくりの推進に尽力。
- ・ 妊娠から出産，子育てまで安心して子育てしやすい環境整備に尽力し，出産や養育を支援する未来の宝子育て支援金の創設や，乳幼児や保護者の交流，育児に関する相談の場として市立子育て支援センターを設立するなど，切れ目のない子育て支援体制の充実に貢献。
- ・ 市の基幹産業である遠洋まぐろ漁業の母港基地化に尽力。
- ・ 豊かな心と健やかな体を育むため，市内小中学校への空調設備導入や学校給食センターの建設など学校教育設備の整備に取り組み，教育環境の充実に貢献。
- ・ 近代日本の礎を築いた若き薩摩藩士の偉業を顕彰した薩摩藩英国留学生記念館の建設に尽力し，交流人口の拡大・情報発信に取り組み，観光産業の振興に貢献するとともに，市民の長年の夢であった総合体育館の建設に尽力。

くまもと あらた
隈元新

◆年齢／満74歳

◆現住所／伊佐市

●主な経歴

時期	経歴
昭和58年4月～平成7年4月	大口市議会議員
平成8年1月～平成20年10月	大口市長
平成20年11月～令和2年11月	伊佐市長
平成9年2月～平成17年1月	鹿児島県市長会監事
平成22年2月～平成29年2月	鹿児島県市長会理事
平成22年5月～平成24年5月	九州市長会理事
平成9年6月～平成10年6月	全国市長会評議員
平成13年6月～平成14年6月	同上
平成16年6月～平成17年6月	同上
平成20年6月～平成20年10月	同上
平成20年11月～平成21年6月	同上
平成24年6月～平成25年6月	同上
平成27年6月～平成28年6月	同上
平成30年6月～令和元年6月	全国市長会理事
平成30年2月～令和2年7月	鹿児島県国民健康保険団体連合会理事長
平成8年7月～平成15年7月	鹿児島県治山林道協会理事
平成15年8月～平成25年4月	鹿児島県治山林道協会副会長
平成8年1月～平成20年10月	大口市土地開発公社理事長
平成20年12月～平成22年3月	伊佐市土地開発公社理事長
平成22年3月～平成22年9月	伊佐市土地開発公社清算人代表

●主な受賞歴

時期	受賞歴
平成5年5月	全国市議会議長会会長表彰（勤続10年）
平成27年11月	林野庁長官表彰（林道功労）
平成28年10月	総務大臣表彰（地方自治功労）
令和2年6月	全国市長会会長表彰（永年勤続特別功労25年）
令和3年11月	旭日中綬章（地方自治功労）

● 主な功績

〈概要〉

大口市議会議員を約12年務めた後、平成8年1月に多くの地域住民の支持を受けて、大口市長に就任し、平成20年11月には、大口市と菱刈町が合併して誕生した伊佐市の初代市長に就任した。大口市長とあわせて、通算7期25年の長きにわたり市勢の発展と住民福祉の向上に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 平成18年7月に発生した鹿児島県北部豪雨災害により、甚大な被害が発生したことから、近隣市町長と連携し、水害に強い地域づくりの必要性を国に強く要請。その結果、「川内川激甚災害対策特別緊急事業」が採択され、人工的な分水路である「曾木の滝分水路」が建設され、川内川上流地域の洪水対策の充実に尽力。
- ・ 平成9年4月に心身の障害や発達に不安を感じる乳幼児とその御家族と一緒に通え、小児科医師等から療育指導を受けることができる心身障害児小規模通園事業「たんぽぽ」の市内保育園への導入を積極的に推進し、平成23年4月には、県内市町村では初めてとなる子育て全般の総合機能を備えた「子ども交流支援センター笑」の設立に尽力したほか、子どもの療育利用料無償化に取り組むなど、療育福祉の進展に貢献。
- ・ 平成7年には「県立養護学校誘致対策協議会」を設立し、伊佐市への県立特別支援学校の誘致活動に精力的に取り組み、特別支援学校の設置に大きく貢献。
- ・ 地域間交流の拡大や生活圏拡大による地域経済の活性化、広域医療体制の確立を図るため、熊本県人吉市を結ぶ久七トンネルの建設陳情から完成開通に至るまで、旺盛なる指導力を持って精力的に尽力。
- ・ 市道大口駅・国ノ十線の延長に伴うふれあい橋の建設や、県道鶴田大口線の道路改良整備等を契機として、災害時の円滑な避難や救急・救援活動及び多方面からの人とモノの交流・連携による経済活力の創出に尽力。
- ・ 誕生間もない伊佐市の一体感を醸成するために映画「半次郎」の撮影誘致や、地域おこし協力隊制度の導入などにより、関係人口の創出・拡大を主導し、地域に変化を生み出すことに尽力。

たま がわ てつ お
玉川 哲生

◆年 齢 / 満88歳

◆現住所 / 鹿児島市

●主な経歴

時期	経歴
昭和36年7月～昭和40年4月	セイカ食品株式会社取締役
昭和40年5月～昭和55年5月	セイカ食品株式会社常務取締役
昭和55年6月～平成19年5月	セイカ食品株式会社代表取締役社長
平成19年6月～現在	セイカ食品株式会社代表取締役会長
昭和62年7月～平成7年7月	鹿児島市教育委員会委員
平成11年10月～平成17年10月	鹿児島県教育委員会委員
平成17年10月～平成19年10月	鹿児島県教育委員会委員長
昭和60年4月～平成9年3月	鹿児島県陸上競技協会副会長
平成9年4月～平成25年3月	鹿児島県陸上競技協会会長
平成8年4月～平成12年5月	鹿児島県スポーツ少年団副本部長
平成12年6月～平成20年5月	鹿児島県スポーツ少年団本部長
昭和45年5月～平成3年4月	鹿児島県経営者協会常任理事
平成3年4月～平成16年4月	鹿児島県経営者協会副会長
昭和50年4月～平成23年6月	鹿児島県経済同友会幹事
平成19年11月～平成22年10月	鹿児島商工会議所副会頭
平成22年11月～現在	鹿児島商工会議所特別相談役

●主な受賞歴

時期	受賞歴
平成19年10月	文部科学大臣表彰（地方教育行政功労）
平成20年11月	旭日双光章（地方教育行政功労）

●主な功績

〈概要〉

企業の経営者として地域経済の発展に寄与するとともに、鹿児島県教育委員会委員長等を通じて、長年にわたり本県教育文化の向上に大きく貢献。

〈個別〉

- ・平成17年10月、鹿児島県教育委員会委員長に就任し、高校再編、学力向上、いじめ問題等困難な教育課題の解決に当たり、本県教育行政の円滑な推進とその発展、教育水準の向上に尽力。
- ・大幅で長期的な生徒減少が進む中で、本県高校教育の専門性の確保や教育水準の維持・向上を図るため、平成15年10月に「かごしま活力ある高校づくり計画－基本計画－」を策定し、地域や学校の実態を勘案しながら、小規模校の再編整備を進め、薩摩中央高校、鶴翔高校をはじめ、平成19年度末までに5校の新設校を開校させるなど、学校規模の適正化に貢献。
- ・学習指導要領において身につけることが求められている基礎的・基本的な学力について、県内全ての小中学校を対象に、平成16年度から本県独自の「基礎・基本」定着度調査を実施し、県全体における定着度を調査・分析し、個に応じたきめ細かな指導方法の改善・充実を図った。この結果を踏まえて、平成18年度から中学校学力向上推進事業を実施するとともに、学校と家庭の連携による「家庭学習60・90」運動を展開させ、家庭学習の充実に努めた。
- ・児童生徒のいじめ・暴力行為・不登校等生徒指導上の課題への確な対応を図るため、教職員の研修の推進、いじめ問題等相談員やスクールカウンセラー等の外部人材の活用、全教職員への「いじめ対策必携」や各家庭への「いじめ対策リーフレット」の配布等を図るとともに、平成19年度から24時間相談電話「かごしま教育ホットライン24」を設置するなど、ソフト面や人材配置、施設面等の整備に努め、いじめの未然防止、早期発見及び早期対応に向けた取組に尽力。
- ・平成9年4月に、鹿児島県陸上競技協会会長に就任し、国民体育大会予選、県民体育大会及び障害者スポーツ大会等の各種競技大会を開催するとともに、審判員の養成に尽力するなど、本県の陸上競技界の発展に貢献。

まつ した けん すけ
松 下 兼 介

- ◆年 齢 / 満81歳
- ◆現住所 / 鹿児島市

●主な経歴

時期	経歴
昭和43年10月～昭和56年3月	鹿児島大学医学部神経科精神科
昭和56年4月～令和3年3月	医療法人仁心会福山病院院長
令和3年4月～現在	医療法人仁心会福山病院名誉院長
昭和60年11月～現在	社会福祉法人たちばな会理事長
平成29年12月～現在	医療法人仁心会理事長
昭和63年6月～平成19年5月	鹿児島県精神科病院協会理事
平成19年5月～平成22年3月	鹿児島県精神科病院協会副会長
平成22年4月～令和4年5月	鹿児島県精神科病院協会会長
昭和63年7月～令和4年10月	鹿児島県精神保健福祉審議会委員
平成10年4月～令和4年9月	鹿児島県精神科救急医療システム連絡調整委員会委員
平成18年4月～令和3年8月	鹿児島県学校職員等健康診断諮問委員会委員
平成7年4月～現在	鹿児島県精神保健福祉相談医
平成22年4月～令和4年5月	九州精神科病院協会理事
平成20年9月～平成27年6月	日本精神科病院協会理事
平成22年10月～令和4年5月	九州精神神経学会理事・評議員
平成18年4月～平成21年3月	日本精神神経学会評議員
昭和59年4月～令和4年3月	福山町立福山小学校学校医 (平成17年11月から霧島市立福山小学校)
昭和59年4月～平成29年3月	福山町立福山中学校学校医 (平成17年11月から霧島市立福山中学校)
平成元年11月～現在	財団法人松下美術館理事長兼館長 (平成24年4月から一般財団法人松下美術館代表理事兼館長)

●主な受賞歴

時期	受賞歴
平成8年11月	文部大臣表彰 (教育学術文化振興)
平成16年10月	鹿児島県知事表彰 (精神保健福祉事業)
平成18年10月	厚生労働大臣表彰 (精神保健福祉事業の推進)
令和2年2月	霧島市民表彰 (保健福祉部門)
令和5年4月	瑞宝小綬章 (保健衛生功労)

●主な功績

〈概要〉

昭和43年に鹿児島大学医学部神経精神医学教室に入局後、長年にわたり医療活動に従事するとともに、鹿児島県精神科病院協会会長等の要職を歴任するなど、本県の精神科医療及び精神科病院の充実、発展に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 鹿児島大学医学部附属病院神経科精神科の講師を務めた後、昭和56年4月に、医療法人仁心会福山病院院長に就任した。以来、長年にわたり精神保健指定医として精神障害者の診療に従事し、地域医療の向上に尽力。
- ・ 鹿児島県精神科病院協会会長を平成22年から12年間務め、その間、会員の精神科医療に対する意識向上や各精神科病院の融和に尽力。
- ・ 県内の精神科病院において、事務長、事務職員、看護メディカルスタッフ、栄養士等が独自で研修会ができるよう独立させ、各部門で切磋琢磨し合うことで、働く職員の意識向上や相互親睦、医学的知識や医療技術の向上を図るなど、より質の高いサービスが提供できる体制の整備に尽力。
- ・ 精神科医療の救急体制について、緊急な精神科医療を必要とする方々が迅速かつ適切な医療を受けられるよう、365日対応可能な精神科救急医療電話相談窓口の設置に尽力。
- ・ 措置入院制度の運用について、県や警察、消防等の関係機関と意見交換を行い、制度の適正な運用に努めたほか、災害派遣精神医療チーム（DPAT）の体制整備に尽力。
- ・ 昭和60年11月から社会福祉法人たちばな会理事長を務め、障害者の方々が地域で安心して生活できるよう、就労支援事業所や地域生活支援センターなど、地域のニーズに応じた社会復帰施設の整備に力を注ぎ、障害者の方々の退院後の社会復帰に尽力するとともに、地域の小・中学校の学校医を長年にわたり務め、地域保健の向上に貢献。
- ・ 平成元年11月から松下美術館館長を務め、文化芸術の振興にとどまらず、児童生徒等に対する文化芸術に関する教育、学校や地域等における活動の連携に尽力するとともに、昭和62年から全国公募の南九州水墨画展を毎年開催し、水墨画の普及と人材育成に尽力。

さわ だ こ
澤 田 たみ子

◆年 齢 / 満74歳

◆現住所 / 出水市

●主な経歴

時期	経歴
昭和54年4月～現在	農業
平成28年2月～現在	さわだ農園 工房はる菜代表
平成6年4月～平成7年3月	出水市生活研究グループ連絡協議会会長
平成21年4月～現在	同上
平成23年4月～現在	鹿児島県生活研究グループ連絡協議会会長
平成25年4月～令和4年3月	全国生活研究グループ連絡協議会理事
平成7年4月～平成16年3月	鹿児島県生活改善協力員
平成12年11月～現在	鹿児島県女性農業経営士
平成22年2月～現在	特定非営利法人鹿児島県有機農業協会理事
平成26年4月～令和2年3月	鹿児島県男女共同参画審議会委員
平成26年4月～平成27年3月	鹿児島県農山漁村女性組織連絡協議会会長
令和4年4月～令和5年3月	同上
令和6年5月～現在	鹿児島県土地改良事業団体連合会理事
平成15年11月～平成19年12月	出水地域農村女性の会会長
平成17年7月～平成18年3月	出水市農業委員会委員
平成20年4月～現在	出水市食推進協議会会長
平成27年4月～現在	出水市6次産業化推進協議会会長
平成27年4月～現在	出水市環境営農推進協議会会長

●主な受賞歴

時期	受賞歴
令和元年11月	鹿児島県農山漁村女性活動功労者表彰（組織活動部門）
令和3年3月	農林水産大臣賞（農山漁村女性活躍表彰（女性地域社会参画部門））
令和3年11月	黄綬褒章（業務精励（農業））
令和3年11月	内閣総理大臣賞受賞（農林水産祭「女性の活躍」）

●主な功績

〈概要〉

出水市において有機農業や農産加工等に精励するとともに、鹿児島県生活研究グループ連絡協議会会長や鹿児島県男女共同参画審議会委員等の要職を歴任するなど、長年にわたり農村の生活改善や男女共同参画の推進に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 就農当初から農業経営の発展のためには女性も農業技術の習得が必要と考え、様々な研修会に積極的に参加した。平成12年には、農業経営や地域の課題解決に努め、発言力や実践力のある地域の女性農業リーダーとして、女性農業経営士に認定された。消費者に、安心・安全を形のあるものとして提供しようと、有機農業に取り組み県内の農業者に先駆けて、平成15年に米で有機JAS認証を取得。
- ・ 有機米を使った加工品を望む消費者の声に応じて、平成28年に自宅敷地内に加工施設「さわだ農園工房はる菜」を新設し、6次産業化の取組を開始した。平成29年には、この加工施設が有機JAS認証を取得。さらに、計画的に事業を展開するために、令和2年3月に6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定を受けるなど、有機農業及び6次産業化への取組に成功し、地域の模範となっている。
- ・ 平成23年に、鹿児島県生活研究グループ連絡協議会の会長に就任し、各種団体と連携し、食育・地産地消活動や食品加工技術の向上、食の伝承活動、農村女性の地位向上活動等に取り組み、地域農業の振興に貢献するとともに、次世代へ組織活動を伝承するため、若手育成研修会や農村女性でわいわい語ろう会、農村生活組織リーダー育成研修会等の開催を通して、後継者の確保・育成に尽力。
- ・ 農村女性の地位向上等に係る勉強会や情報交換、異業種の女性リーダーとの交流を積極的に行うとともに、鹿児島県男女共同参画審議会委員として、農村における男女共同参画の促進にも貢献。

いし だ お ひろ お
石 田 尾 博 夫

- ◆年 齢 / 満76歳
- ◆現住所 / 鹿児島市

●主な経歴

時期	経歴
昭和49年5月～昭和57年9月	九州学院大学講師
昭和57年10月～平成9年10月	九州学院大学助教授
平成9年11月～平成14年3月	第一工業大学教授
平成14年4月～平成23年3月	福岡医療福祉大学教授
平成16年9月～平成19年3月	放送大学客員教授
平成20年4月～平成21年3月	同上
平成23年4月～平成29年3月	日本経済大学教授
平成29年3月～現在	第一工科大学名誉教授
平成8年4月～平成17年3月	鹿児島県男女共同参画アドバイザー
平成11年4月～平成13年3月	かごしまハーモニープラン推進懇話会委員
平成14年2月～平成30年1月	鹿児島県男女共同参画審議会会長
平成6年8月～平成20年5月	南のふるさとづくり推進協議会会長
平成11年4月～現在	鹿児島県景観アドバイザー
平成19年7月～平成21年7月	鹿児島市地域力再生検討委員会委員長
平成23年7月～平成29年8月	鹿児島市地域コミュニティビジョン推進戦略会議委員長
平成19年3月～平成19年10月	霧島市総合計画審議会会長
平成22年1月～現在	霧島市都市計画審議会会長
平成23年1月～平成23年11月	霧島市景観計画策定協議会会長
平成25年2月～平成29年2月	霧島市景観審議会会長
平成18年1月～現在	霧島市公平委員会委員長

●主な受賞歴

時期	受賞歴
平成23年6月	内閣総理大臣表彰（男女共同参画社会づくり功劳）
平成28年10月	総務大臣表彰（公平委員会制度65周年記念）
令和元年6月	国土交通大臣表彰（都市計画法・建築基準法制定100周年記念）
平成27年11月	南さつま市市政功劳者表彰（地方自治部門）
平成31年2月	霧島市市民表彰（地方自治部門）

●主な功績

〈概要〉

学識者として豊富な知識と経験を生かし、鹿児島県男女共同参画審議会会長等を歴任するなど、長年にわたり地域における男女共同参画の推進に大きく貢献。

〈個別〉

- ・ 平成8年に鹿児島県男女共同参画アドバイザーに就任し、首長をはじめ市町村の幹部職員の研修会等において、国の男女共同参画2000年プランなど関係施策の周知を図るとともに、有識者・助言者として、市町村の男女共同参画計画の策定を促進するなど、精力的かつ広範に男女共同参画の重要性を説き、県内市町村の男女共同参画行政の推進に尽力。
- ・ 生活研究グループや婦人会など各種団体の研修会等において、男女共同参画の基本理念等について講義を行うなど、男女共同参画に対する県民の理解促進、意識啓発に貢献。
- ・ かごしまハーモニープラン推進懇話会委員として、男女共同参画に関する県条例の必要性を積極的に提言するとともに、県民の意見を丁寧に聴取するなど、本県の男女共同参画推進条例の制定に尽力。
- ・ 平成14年から平成30年まで鹿児島県男女共同参画審議会会長を務め、本県初となる男女共同参画基本計画（平成20年3月）をはじめ、第2次計画（平成25年3月）、第3次計画（平成30年3月）の策定においては、リーダーシップを発揮しつつ、各委員の様々な意見を丁寧に聴取しながら全体調和を図るとともに、本県の男女共同参画の現状や課題、県計画における関係施策の進捗状況、評価の在り方等について審議し、具体的な提言を行うなど、男女共同参画社会の実現に向けて尽力。
- ・ 自主的・自立的な地域づくりの推進に資することを目的として、平成6年8月に設立された南のふるさとづくり推進協議会の初代会長として、会員相互の交流や情報交換を行う「南の風交流会」の開講等に精力的に取り組み、地域の振興・活性化に大きく尽力した。長年にわたるこれらの取組を通して、地域づくり団体や企業など多様な主体の連携・協力による共生・協働の地域社会づくりに寄与し、「共生・協働かごしま」の推進に貢献。